

岩手県職労

月2回刊=1428号
2015年1月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジロー印刷企画
一部40円
組合員購読料は組合費に含む

**満期金に
万一の保障を
セツト**

親子共済は、お子さまの高校卒業年度に「満期共済金」、万一年の場合に「共済金」をお受け取りいただける制度です。



じちろうの親子共済
自治労共済本部
詳しくは所属する組合まで

2015年を飛躍の年にしよう 恒例の“旗開き”で支部活動スタート

県庁・盛岡支部、花巻支部、一関支部、釜石支部

春闘・統一地方選勝利へ決意固め合う



長沼県庁支部長の発声でカンパイ（県庁・盛岡支部合同旗開き）



平中委員長から盛岡支部の新加入の皆さんへ記念品を贈り、全体で歓迎



ビンゴゲームなどで盛り上がった釜石支部旗開き



和やかな雰囲気の中で開かれた花巻支部旗開き

2015年の県職労の活動をスタートさせる「旗開き」が各支部で開催されている。

7日には県庁・盛岡支部、一関支部、釜石支部で開催。9日には花巻支部で開催され、多くの組合員が参加し、15春闘・統一地方選の勝利に向けて決意を固めあった。

県庁・盛岡支部の合同旗開きは7日、午後6時から盛岡市の「エスポワールいわて」で行われた。あいさつに立った加藤秀樹盛岡支部長は、「昨年末の総選挙で自公が勝利したことで、政権は今後『経済最優先』を掲げ私たちの生活を脅かす攻撃を仕掛けてくることは明らかだ。」として、給与制度の総合的見直し阻止の取り組みや15春闘への結集を訴えた。

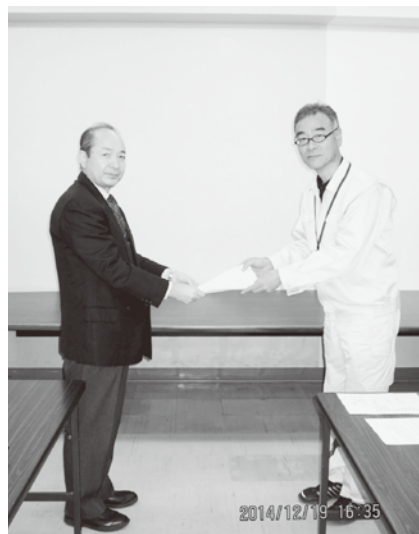
一関支部は、午後6時から「ホテル・サンルート一関」で開催、33人が参加した。

釜石支部は午後5時30分から合同庁舎会議室で開催し53人が参加、多田野支部長の乾杯の後、恒例となったビンゴゲームなどで盛りあげた。花巻支部は9日、午後6時15分から「なはんプラザ」で開催。組合員32人が参加した。

胆江支部が独自要求書提出し
平哲夫県南局総務部長と交渉

県職労胆江支部は、12月19日、「支部独自要求書」を平哲夫県南局総務部長に提出し、交渉を行った。交渉は、組合側から佐藤支部長、三角・飯坂両副支部長、佐々木書記長、振興局側は、平総務部長のほか、佐々木総務課長が参加して行われた。

交渉に先立ち、佐藤支部長から平総務部長へ「要求書」を手渡し「アンケート」による組合員から寄せられた声を要求書としてまとめたいものである」とことを伝える



独自要求書を手渡す佐藤支部長（右）

た上で冷暖房設備の取り扱
い・老朽施設、設備等の改
修・文書保存庫・公用車及
び職員駐車場など労働環境
整備について交渉した。

平総務部長からは、「庁舎関係の改修については管財課に予算要求し対応を進める」「駐車場の問題については多額の予算を必要とするところから早急な対応は難しい」「知恵を出し合いながらより良い環境を作っていく」との見解が示された。

胆江支部では文書による回答期限を1月26日としている。



要求書を提出後、平部長（左写真・右）と交渉する胆江支部執行部（右写真）



要求書を提出後、平部長（左写真・右）と交渉する胆江支部執行部（右写真）

自治労岩手県本部2015春闘討論集会

日時 1月23日（金） 午後1時～24日（土） 午前11時まで

場所 「ホテル大観」 盛岡市繁湯ノ館37-1
☎019-689-2121

◆基調講演
「新潟県職労における人事評価制度導入の取り組み」
講師：新潟県職労書記長 波形 和弘氏

第五世代

新しい年を迎え、それぞれの支部で「旗開き」が開催されている。皆さんの住んでいる地域でも新年会等が開催されていることだろう。県内では、飲み会の開会時間前に揃った人から乾杯の「練習」を始めることが多い。ところが、この練習の文化は全国的なものではないらしい。以前某テレビ番組で秋田県でのこの風習が取り上げられた事がある。秋田では「練習ドリンク無料」の特典があるお店もあるとか。かく我々は、自分自身の日常を「常識」だと思いがちだが、思い込みは危険だ。深夜までの残業が続く時期に20時頃の帰宅だと「今日は早い」と感じたり、挙句の果ては「暇な職場」と揶揄されることもある。実は、職場の常識が社会の非常識であることの方が多いのではないかと。昨年末の解散総選挙の結果から、安倍内閣は国民の信任を得たと豪語しながら大企業優先の政策を継続するが、投票率52%の結果を国民の期待する政策のように言われてはたまらない。何が常識なのか、私たちが指摘し気づかせていく取り組みが必要だ。15春闘が始まる。職場からしっかりと声を挙げていこう。

15春闘・民間の仲間と連帯してたたかおう

自治労青年女性春闘討論集会報告

「2015春闘勝利自治労青年女性春闘討論集会」が2014年12月16日、東京都の自治労会館で開催され、全国から114人(県職労から1人)が参加した。

冒頭、自治労本部川本書記長から情勢報告と春闘方針の提起があり、「衆院選での自民党大勝の結果、私たち公務労働者の賃金・合理化削減攻撃は一層厳しくなる。連合では2%のペー

全体の集約報告を行なう中村青年部長

スアップを春闘目標に据えた。給与制度の総合的見直し攻撃など厳しい攻撃が続いているが、民間労働者と連帯して私たちの譲れない賃金闘争を進めよう。そのためにも、私たち労働者の声を政治の場に届けるため、統一自治体選挙闘争では青年女性の奮闘を期待する」と激励を受けた。



2015春闘勝利へ全国の仲間との交流を図った自治労青年女性春闘討論集会

交流を行った。

全体討論では22県本部から発言があり、「生活・職場実態点検手帳付けの取り組みを通じて、今の賃金額が到底足りないことが共有できた。給与制度の総合的見直しは生涯賃金の低下につながる将来設計も描けない!との声から、総合的見直し反対の市長あて独自要求に取り組んだ」、「衆院選闘争で青年選対として行ったピラ配り行動等を通じて、他職種の青年との団結を深めることができた。統一自治体選挙も一丸となって頑

張りたい」など、青年層の仲間が積極的に行動を企画し、参加することで団結が強められてきたとの発言が多く出された。

中村本部青年部長は「賃金・労働条件の改善に向けた春闘を進めるため、学習と交流を強化すること、そして民間の仲間とも連帯して春闘をたたかおう」と集約した。

1月23日・24日には県本部春闘討論集会、25日・26日は東北地連春闘討論集会が開催される。県職労からも青年女性組合員が積極的に結集し、職場や社会の不満・矛盾を仲間と討論・交流していきこう。

(県職本部労書記次長) 小澤 豊和

憲法理念の実現を

第51回護憲大会・岐阜市で開催

昨年の11月1日から3日にかけて、岐阜県で憲法理念の実現をめざす第51回護憲大会が開催された。

1日目は、開会総会・シンポジウムの後、約1・4キロをデモ行進し、会場を移したところで憲法・平和を守る1000人集会が開催された。2日目は、7つの分科会、フィールドワーク、特別分科会など様々な企画が催された。最終日となる3日目の閉会総会では、4つの特別提起や大会ア

支部活動報告 二戸支部/青婦部

「昇給・昇格制度」で学習会

二戸支部青年婦人部は、12月16日に、参加者21人で「昇給・昇格制度」の学習会を開催した。



昼時間を利用して行われた二戸支部青婦部の学習会

学習会では、どのくらい勤務したら昇格するのかを

確認した。また、年齢が高くなるほど賃金も高くなる年功序列型賃金は、戦後企業が考え出した仕組みであることも学んだ。

参加者からは、「モデルケースと自分の号給を比べて、自分の状況を確認できたから良かった」という声や、「障がい者枠採用と一般採用では、どのくらい賃金に差がつくのか知りたくなった」という新たな疑問の声もあがった。

ついでには、「そもそも、積極的平和主義とは、地域間の政治的融和、経済的協力、文化的な調和などを通じて紛争や対立の根本的原因を除いていく努力を指すものである。閣議決定をもって集团的自衛権の行使を容認する憲法解釈を変更し、平和のために軍事的行動も辞さない等の姿勢は、立憲主義を破壊する行為であり、民主主義国家として許されないもの」と痛烈に批判した。平和憲法が脅かされるなか、日本国憲法について改めて見つめ直す機会となる大会となった。

県職労は、憲法改悪、戦



岐阜市で開催された第51回護憲大会

お品書き

総合(慶弔)共済 基本型・追加型

…… たすけあいの保障

団体生命共済

…… いのちと健康の保障

長期共済/後遺障害年金

…… 今からはじめる

退職後のための積立保障

親子共済

…… お子さまのための積立保障

じちろうマイカー共済

…… くるまに関する補償

火災共済+

自然災害共済

…… 住まいの保障

じちろうの共済は、組合員と家族の皆さまの安心をバックアップするための制度です。生命・医療保障、退職後の保障から自動車や住宅の損害まで、生活全般の保障をご用意しております。



全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合